

## 2007年度「学生による授業アンケート」結果報告

大学FD委員会

本学では毎学期、学部開講科目で学生による授業アンケートを実施しています。その集計結果は、データ化して記述式回答と共に担当教員にフィードバックし、授業改善のために資料として活用されています。あわせて全学的に統計資料の作成を行い、組織的な授業改善にも取り組んでいます。今回は、2007年度に実施した当該アンケートの結果概要についてお知らせします。

### 1. アンケート実施概要について

前期は2007年7月2日(月)～7月23日(月)、後期は2007年12月10日(月)～2008年1月21日(月)の期間に実施し、実施科目数は前期：522科目(講義：305、演習：217)、後期：509科目(講義：253、演習：256)でした。アンケートは無記名式とし、担当教員が直接配布や回収を行うことは避け、取りまとめの学生を指名し、指名された学生が代表としてアンケートの配布・回収を行い、所定の提出場所に持参することとしています。設問は、選択式(OCR)と記述式からなり、講義、演習共に選択式(OCR)は共通設問の(1)～(17)と、担当教員が独自に内容を設定する(18)～(20)に分かれています。記述式は(21)「この授業で良かった点を書いてください」、(22)「この授業で改善してほしい点を書いてください」、(23)「この授業で扱ってほしい内容について書いてください」という3つの共通設問と担当教員が独自に内容を設定できる設問1つで構成されています。選択式(OCR)については、各設問に対して、該当する1つの回答を選択する形式となっており、2つ以上選択した場合又は何も選択されていない場合には無効回答として処理され、集計の対象から除外されます。評定平均値は、回答のA～Eの選択肢に対してA=5、B=4、C=3、D=2、E=1のポイントを乗じ、各設問における合計ポイントを有効回答数で除した数値(小数点第三位を四捨五入)です。

### 2. 結果等の概要及び大学の取組

2006年度までの実績を踏まえ、2007年度からは設問内容を一部修正し、また、集計結果の分析に総合的な満足度との相関係数と各設問における標準偏差の数値を加えました(相関係数、標準偏差の説明については結果表を参照ください)。これは、学生が本学の授業をどのように受け止めているのか、また、それが授業におけるどのような要素と関連が深いのかを把握することが目的です。

総合的な満足度は講義で前期が4.06、後期が4.17、演習で前期が4.30、後期で4.35となっており、過去のアンケート結果などから見ても、本学学生の授業に対する満足度は総じて高いと言えます。また、総合的な満足との相関が高い項目としては、「この授業を受講した結果、この分野(領域)への関心は深まった」「教員の説明はわかりやすかった」が挙げられます。

その一方、ここ数年継続の課題としては授業外学習に関する状況が挙げられます。2007年度から講義・演習ごとに集計を行うことになったことに伴い、授業外学習に取り組んだ学生の比率が演習では高く、講義では低い傾向があることが確認できました。さらに、講義における当該項目の標準偏差（ばらつきを示す数値）からは、回答のばらつき、すなわち授業外学習に取り組んだ学生とそうでない学生とに2極化する傾向も見られます。この点は、今後も注意深く確認していく必要があると考えています。

今後の取組としては、こうしたデータ及び分析に関する蓄積のもとに、個々の科目の平均値だけでなく、履修者の所属（学部・学科）や年次等との関係についても検証するなど、カリキュラムとの関係性についても状況を分析していくことを検討しています。

以上

【講義科目】 前期(履修者:16,039、回答者:10,939) / 後期(履修者:13,332、回答者:8,411)

設問文	前期			後期		
	全体平均点	問17との相関係数	標準偏差	全体平均点	問17との相関係数	標準偏差
1 この授業におけるあなたの出席状況を示して下さい。	3.96	0.052	1.225	4.05	0.086	1.040
2 授業の進み具合(進行速度)は適切だった。	4.33	0.621	0.880	4.28	0.548	0.852
3 各回の授業内容の量は適切であった。	4.30	0.646	0.897	4.33	0.642	0.816
4 この授業を受講した結果、この分野(領域)への関心は深まった。	4.21	0.715	0.996	4.27	0.725	0.916
5 授業に集中できる雰囲気を保つ配慮がされていた。	4.06	0.543	1.055	4.14	0.543	0.983
6 授業の開始時間、終了時間は守られていた。	4.38	0.430	0.898	4.41	0.440	0.851
7 この授業で使う教室の大きさ、設備、備品等は適切だった。	4.36	0.387	0.919	4.38	0.400	0.872
8 テキスト、参考文献、配布資料等の使用は適切であった。	4.34	0.601	0.884	4.37	0.603	0.820
9 板書や視聴覚教材(スライド、オーディオ機器、PC、楽器等)の利用は適切であった。	4.23	0.566	0.960	4.31	0.551	0.864
10 教員の授業に対する意欲・熱意を感じられた。	4.45	0.634	0.814	4.56	0.644	0.702
11 教員の説明はわかりやすかった。	4.24	0.742	0.998	4.33	0.732	0.897
12 教員の声の大きさなどは適切で聞きやすかった。	4.43	0.605	0.856	4.50	0.598	0.782
13 成績評価の基準は明確であった。	3.98	0.517	1.071	4.14	0.543	0.912
14 シラバス(授業内容や課題)は受講に役立った。	3.99	0.623	1.019	4.10	0.609	0.932
15 この授業の内容について自分自身で学習するための方法が把握できた。	3.79	0.670	1.097	3.87	0.627	1.017
16 この授業のために授業時間外の学習(予習・復習・課題等)を行った。	3.53	0.505	1.270	3.55	0.490	1.231
17 *総合的に判断して、この授業の満足度を示してください。	4.06			4.17		

【演習科目】 前期(履修者:3,726、回答者:3,049) / 後期(履修者:4,077、回答者:3,215)

設問文	前期			後期		
	全体平均点	問17との相関係数	標準偏差	全体平均点	問17との相関係数	標準偏差
1 この授業におけるあなたの出席状況を示して下さい。	3.87	0.056	1.260	4.01	0.035	1.071
2 授業の進み具合(進行速度)は適切だった。	4.40	0.636	0.842	4.27	0.589	0.912
3 各回の授業内容の量は適切であった。	4.41	0.643	0.845	4.38	0.656	0.810
4 この授業を受講した結果、この分野(領域)への関心が深まった。	4.44	0.664	0.846	4.43	0.729	0.824
5 授業の開始時間、終了時間は守られていた。	4.49	0.439	0.827	4.48	0.430	0.806
6 この授業で使う教室の大きさ、設備、備品等は適切だった。	4.53	0.406	0.810	4.59	0.477	0.697
7 テキスト、参考文献、配布資料の使用は適切であった。	4.46	0.527	0.830	4.49	0.611	0.769
8 授業の人数は適切であった。	4.52	0.444	0.807	4.58	0.517	0.711
9 少人数授業の利点を生かした授業展開がされていた。	4.41	0.559	0.924	4.46	0.610	0.837
10 教員の授業に対する意欲・熱意を感じられた。	4.58	0.633	0.758	4.58	0.650	0.709
11 教員の説明はわかりやすかった。	4.46	0.709	0.876	4.42	0.770	0.884
12 教員の声の大きさなどは適切で聞きやすかった。	4.57	0.583	0.776	4.56	0.646	0.793
13 教員は学生の質問や学習上の相談に応じてくれた。	4.46	0.598	0.841	4.41	0.647	0.842
14 成績評価の基準は明確であった。	4.15	0.493	1.027	4.20	0.524	0.892
15 この授業のために授業時間外の学習(予習・復習・課題等)を行った。	4.16	0.377	1.046	4.18	0.411	0.960
16 この授業の内容について自分自身で学習するための方法が把握できた。	4.20	0.604	0.949	4.19	0.653	0.896
17 *総合的に判断して、この授業の満足度を示してください。	4.30			4.35		

【相関係数】

相関係数は2種類のデータ間での関連性の強さを表す数値です。今回の帳票では、問17「総合的に判断して、この授業の満足度を示して下さい」と各設問の関連性を表します。数値は1.0に近いほど両者には強い関連性が認められることを意味しています。

【標準偏差】

標準偏差とは平均値がどれだけ回答の分布を代表しているかを示す指標です。標準偏差が小さいほど回答が平均の近くにまとまっており、標準偏差が大きいほど回答が平均から散らばって分布していることを示します。